

【登米圏域】圏域観光に対する御意見

- 認知度不足→ポイントを絞ったPRや、年齢層を意識したPR方法の検討が必要。
- 受け入れ体制の強化→観光に特化した組織への体制支援が必要。
- マイカー・日帰りでの観光が主流のため滞在時間が短い→滞在時間を増やすため、試験的にツアーを実施し、ツアー実施に向けた体制を整備すべき。

(1) 戦略的な観光地域づくり

- 看板・地域の観光資源の整備
 - ・観光案内看板の整備がされると良い。(撤去、設置、多言語)
 - ・地域の自然・文化資源の維持管理に対する公的支援がほしい。
- 広報
 - ・宮城県や登米市の認知度をあげるためには、もっとアピールポイントを絞ってPRを打ち出していくべき。
- 観光関連団体の体制支援
 - ・地域の観光戦略を考えたり実際のお客さんのニーズを受け止めて情報発信をしていく、観光に特化した組織の体制支援をお願いしたい。
 - ・観光コンテンツイベントの実施主体の支援をするのも良いのでは。
- 情報共有
 - ・圏域のイベントや観光コンテンツ等が、ホテルを含め地域内で共有される取組が必要。
- コンテンツ造成
 - ・ビジネス客が多いため、朝・晩のコンテンツを造成することで、仕事以外の時間に観光も楽しんでもらえるのではないかと。パンフレット等があるとなお案内しやすい。
 - ・民泊は開拓の余地がある。体験のみ・農家以外の受入など受入幅を広げることで、圏域活性化の足掛かりになる。
 - ・試験的にツアーを実施し、ツアー実施に向けた体制を整備すべき。
 - ・体験型観光(農業体験等)の充実や滞在時間延長のための施策が必要。

(2) 周遊性向上のための二次交通対策

- 二次交通の不足
 - ・タクシーの確保が困難。(台数不足・地域によっては近距離では対応されない・高齢者利用や介護で予約が埋まりがち)
 - ・ライドシェアを検討してはどうか。
 - ・グリーンスローモビリティ(低速で走れる電気自動車)の試験導入をしてみてもどうか。ゆっくり街を走ることで、桜鑑賞や街並みを楽しむこともできる。
 - ・自転車のレンタルサービスの試験導入をしてみてもどうか。
 - ・ホテル等が合同で期間限定のツアーを企画して、観光客用のバスをチャーターする、というのを試してみてもいいかもしれない。
- 交通手段の情報整理
 - ・登米市までのアクセス、登米市内の移動手段、どちらも手段が少なく、情報もまとまっていない。

宿泊事業者部会での意見交換概要

(3) 快適な旅行環境のための受入環境整備

○人材育成

- ・観光地の魅力としての「地元らしさ」を維持するには、地元の若者に働いてもらうことが重要。農業の「農の雇用」のような制度（新たに雇用した人に研修を受けさせることで、雇用側が助成金を受け取れる制度）を観光分野にも導入すべき。

(4) 効果的なプロモーションの展開

○ターゲット層を意識した整備

- ・登米市らしい特徴的な体験・商品を掘り下げ、特定の層に向けてアピールできるニッチな観光コンテンツの強化が必要。
- ・授乳室やお湯の提供、バリアフリー設備（トイレ等）の整備等を進めることで、地域の魅力向上・他地域との差別化につながるのではないかと。
- ・クレジットカードや電子決済対応店の拡充が求められている。タクシー等も同様。

○広報

- ・道の駅三滝堂のドッグランや登米神社のペット御祈禱の取り組みもある。ペット同伴客の需要を意識したプロモーションも良いのではないかと。
- ・ターゲットを絞るのも一つだが、年齢層によってPR方法も異なってくる。SNSも何がバズるか分からない時代なので、1個当たればこれまで関心がなかった人にも知ってもらえる。
- ・インバウンドも良いが、国内（県外）の人に宮城の魅力が伝わっていないので、国内向けPRをもっとやっていくべき。

○マッチング支援

- ・旅行会社やターゲット層とのマッチング支援が必要。

【参考】登米圏域の観光の現状と課題

(1) 観光客入込数

登米圏域の入込数は、道の駅「三滝堂」（前年比+2万人）、平筒沼ふれあい公園（前年比+2万人）などの増加により、対前年比4%増加の293万人

(単位:人)

| | H31 (R1) | R5 | R6 | 年比 | |
|----------|----------|-------|-------|-----------|--------|
| | | | | H31(R1)年比 | R5年比 |
| 仙南圏域 | 718 | 670 | 708 | 98.6% | 105.7% |
| 仙台圏域 | 3,679 | 3,936 | 4,073 | 110.7% | 103.5% |
| 大崎圏域 | 941 | 809 | 847 | 90.0% | 104.7% |
| 栗原圏域 | 190 | 166 | 177 | 93.2% | 106.6% |
| 登米圏域 | 347 | 281 | 293 | 84.4% | 104.3% |
| 石巻圏域 | 550 | 637 | 639 | 116.2% | 100.3% |
| 気仙沼・本吉圏域 | 371 | 324 | 314 | 84.6% | 96.9% |
| 県全体 | 6,796 | 6,824 | 7,051 | 103.8% | 103.3% |

(2) 宿泊観光客数

【出典】宮城県観光統計概要(R6速報値)

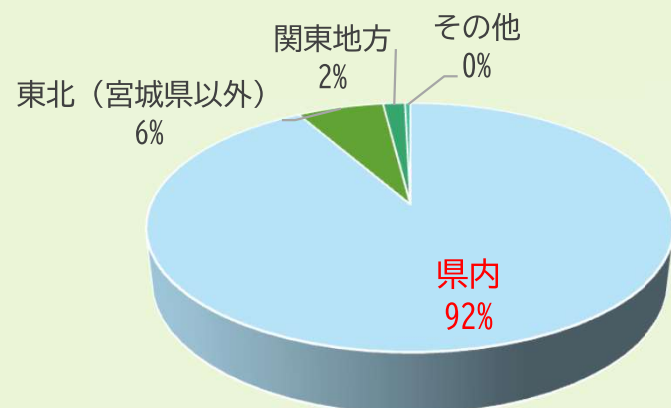
登米圏域の宿泊観光客数は、前年比13%増加の約9万人泊

(単位:人泊)

| | H31 (R1) | R5 | R6 | 年比 | |
|----------|----------|-----|-----|-----------|--------|
| | | | | H31(R1)年比 | R5年比 |
| 仙南圏域 | 71 | 63 | 63 | 88.7% | 100.0% |
| 仙台圏域 | 742 | 727 | 770 | 103.8% | 105.9% |
| 大崎圏域 | 77 | 54 | 58 | 75.3% | 107.4% |
| 栗原圏域 | 11 | 9 | 9 | 81.8% | 100.0% |
| 登米圏域 | 9 | 8 | 9 | 100.0% | 112.5% |
| 石巻圏域 | 38 | 42 | 38 | 100.0% | 90.5% |
| 気仙沼・本吉圏域 | 42 | 40 | 42 | 100.0% | 105.0% |
| 県全体 | 989 | 943 | 988 | 99.9% | 104.8% |

(3) 旅行者の居住地エリア

県内客が約9割を占め、宮城県を含む東北地方では98%を占める。

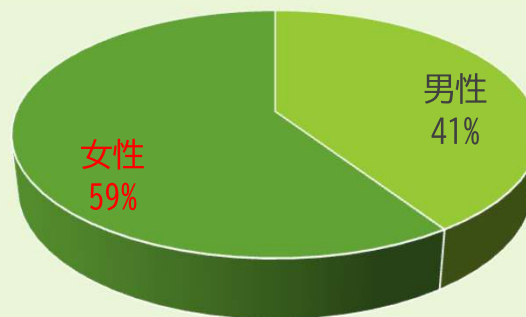


(4) 旅行者の性別・年代

【出典】令和6年度観光客実態調査

女性が59%を占め、年代別では50代(29%)、60代(28%)の割合が高い。

【旅行者の性別】



【旅行者の年代】

